



国際交流基金 世界の拠点

日本

本部(東京)
日本語国際センター(埼玉)
関西国際センター(大阪)
京都支部

米州

ニューヨーク(米国)
ロサンゼルス(米国)
トロント(カナダ)
メキシコシティ(メキシコ)
サンパウロ(ブラジル)

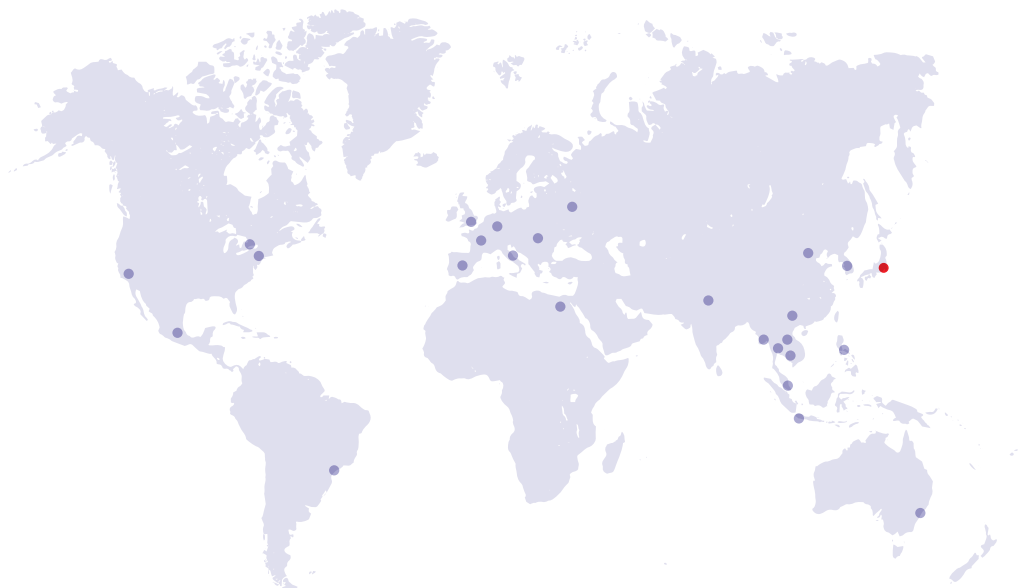
アジア・大洋州

ソウル(韓国)
北京(中国)
ジャカルタ(インドネシア)

プノンペン(カンボジア)
バンコク(タイ)
マニラ(フィリピン)
ハノイ(ベトナム)
クアラルンプール(マレーシア)
ヤンゴン(ミャンマー)
ピエンチャン(ラオス)
ニューデリー(インド)
シドニー(オーストラリア)

欧州・中東・アフリカ

ローマ(イタリア)
ケルン(ドイツ)
パリ(フランス)
ロンドン(英国)
マドリード(スペイン)
ブダペスト(ハンガリー)
モスクワ(ロシア)
カイロ(エジプト)



国際交流基金

国際交流基金(The Japan Foundation)は、世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する専門機関です。1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年に独立行政法人となりました。世界と日本人の間でお互いの理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人々の交流をつくりだしています。

国際文化交流事業を総合的かつ効果的に実施するため、国際交流基金は以下の3つの分野で事業を展開しています。

- ・ 文化芸術交流
- ・ 日本研究・知的交流
- ・ 海外における日本語教育

国際交流基金は、東京に本部を置き、世界24カ国に25の海外拠点を設けており、グローバルに活動を展開しています。米国には、ニューヨークとロサンゼルスに2カ所に事務所があり、各地の日本国在外公館や文化機関・教育研究機関と連携をとりながら事業を実施しています。

文化芸術交流

国際交流基金は、国際的な相互理解を促進するため、美術・音楽・演劇・文学・映画などの芸術から、食やファッションなどの生活文化にいたるまで、日本の文化芸術を幅広く紹介し、グローバルな交流とネットワークづくりを推進しています。独自の企画を実施するとともに、各種の助成プログラムにより米国非営利団体による優れた事業を支援しています。



パフォーマンス・アーツ・ジャパン (PAJ)

北米(米国・カナダ)の非営利団体による、日本の優れた舞台芸術作品を紹介する事業に対して、経費の一部を助成します。巡回公演部門では、日本の舞台芸術家が北米の複数都市で行うツアー公演を支援。また、共同制作部門では、日本と米国・カナダの舞台芸術家による共同創作プロジェクトを支援します。

海外展助成

日本の美術・文化を紹介することを目的とした展覧会を実施する米国の美術館・博物館等に対し、経費の一部を助成します。ピエンナーレやトリエンナーレのような、日本の作家・作品を紹介する国際展も対象となります。

石橋財団・国際交流基金 日本美術リサーチフェローシップ

日本美術に関わる人材を育成し、日本美術の研究と紹介を促進するため、米国の学芸員・研究者等を日本に招へいし、日本で調査研究等の活動を行う機会を提供します。本事業は、公益財団法人石橋財団の「寄付助成事業」により実施されるものです。

翻訳出版助成

日本理解および日本研究の促進を目的として、日本語で書かれた図書の外国語翻訳・出版を計画する米国の出版社に対し、翻訳経費や出版経費(印刷・製本費)の一部を助成します。商業ベースに乗りにくい日本関連図書の出版を促し、米国社会への普及を図ります。

JFNY助成(文化芸術)

米国の非営利団体による、舞台公演、展覧会、映画上映や一般向けワークショップなど日本文化を紹介する文化芸術事業に対し、経費の一部を助成します。

鑑兜貸出

日本文化紹介イベントで利用を希望する方に、着用可能な日本の鑑兜(レプリカ)を貸し出しています。

※各プログラムの詳細はウェブサイト(jfny.org/arts-cultural-exchange/)をご覧ください。



日本研究

国際交流基金は、米国における日本研究の振興および日本理解の深化を目的として、様々な助成プログラムやフェローシップ事業を通じ、大学などの教育研究機関および日本研究分野の研究者・学生への支援を行うとともに、研究者同士のネットワーク強化の機会を提供しています。



日本研究機関支援 (IPS)

米国における日本研究の革新的かつ長期的な発展を促すため、大学の日本研究学科や研究センターなどに対し、研究や国際会議の実施、教員新規雇用、図書整備、訪日研修、出版などを支援します。

日本研究機関支援小規模助成 (IPS-Small)

次の3つを目的にした助成プログラムです。

- (1) 日本研究の予算削減の影響を受け、現在の研究基盤の維持が困難となっている大学・研究センターへの支援
- (2) 日本研究プログラムが存在せず、十分な人材・資金を持たない教育研究機関における日本研究の促進
- (3) 革新的で優れた日本研究プログラムの支援

JFNY助成 (日本研究)

学会、セミナー、シンポジウム、研究発表、レクチャーなどの学術的な取り組みを通じ、日本への理解を深めるプロジェクトに対し、経費の一部を助成します。

日本研究フェローシップ

米国における日本研究を振興するため、人文・社会科学分野の日本研究者に対し、日本で研究・調査活動を行う機会を提供します。「学者・研究者(長期)」「学者・研究者(短期)」「博士論文執筆者」の3つの種別があります。

※各プログラムの詳細はウェブサイト(jfny.org/japanese-studies/)をご覧ください。



日本語教育

世界の人々に日本語を知ってもらうことは、日本への親しみや理解を広げることに繋がります。国際交流基金では、世界中のより多くの人々に日本語を学ぶ機会を提供するため、教材の開発、日本語能力試験の 実施、日本語教師の研修など、さまざまな側面から日本語教育を支援しています。



日本語能力試験 (JLPT)

日本語能力試験 (JLPT) は日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する、世界最大規模の日本語能力検定試験です。詳細は日本語能力試験のウェブサイト (jlpt.jp) をご覧ください。



米国若手日本語教員派遣 (J-LEAP)

米国若手日本語教員派遣 (J-LEAP) は、日米間の文化・人材交流と、米国日本語教育への支援を強化するため、若手日本語教員を米国の日本語教育機関等に派遣する事業です。派遣者は受入機関の日本語教師 (リードティーチャー) とチームティーチングを行い、授業、教材・カリキュラム作成、宿題・テスト評価等の補助活動を行うほか、受入機関や地域における日本文化・社会理解促進に関する活動を行います。詳細は国際交流基金本部のウェブサイト (jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/dispatch/voice/j-leap/) をご覧ください。



各種助成プログラム

米国における日本語教育に対する各種の助成プログラムについては国際交流基金ロサンゼルス日本文化センターのウェブサイト (jflalc.org/grants-jle) をご覧ください。



eラーニング教材

国際交流基金では、日本語の教室に通うことができなったり、これから学習を始めたいという世界中の人々に日本語を学ぶ機会を提供するため、日本語学習プラットフォーム「JFにほんごeラーニング みなと」 (minato-jf.jp) を公開しています。また、学習環境の変化や多様化する日本語学習者のニーズに対応するため、日本語学習サイトやアプリなどの様々なeラーニング教材の開発も推進しています。詳細は国際交流基金関西国際センターのウェブサイト (kansai.jpf.go.jp/ja/resource/e-learning/) をご覧ください。



日米センター

知的交流

日米センター知的交流プログラムは、平和で公正な国際秩序の形成、世界が直面する様々な課題の克服に向けて、日米両国の協力による取り組みや、対話・連携を推進する事業を実施・支援します。また、グローバル・パートナーシップを担う日米の人材育成とネットワーク促進に資する事業を行っています。



一般公募助成

現在のグローバルな課題や日米共通課題の解決に向け、日米の非営利団体（大学、シンクタンクを含む）が共同で実施する政策指向型事業を支援します。具体的な成果や効果的な成果普及が見込まれるプロジェクトを重視します。

ケース・スタディ・ジャパン

人文学・社会科学の様々な分野の米国教員・大学院生が、学際的なグループを構成し訪日するスタディ・ツアーを支援します。日本を専門としない教員・大学院生を含むグループに対して、深い日本理解と関係構築の機会を提供し、訪日で得た知見をそれぞれの専門分野の研究に活用してもらうことを目的としています。

小規模助成

米国の非営利団体（大学、シンクタンクを含む）が実施する政策指向性の高い日米共同プロジェクトを支援します。日米の緊密な取り組みが必要な政策課題の克服を目指す、新たな事業や今後の発展が見込まれる事業等を重視します。

安倍フェロースhip

現代のグローバルな共通課題で、かつ日米の緊密な取り組みが必要な政策課題に関する、学際的・国際的な調査研究の促進を目的に、米国社会科学研究評議会（SSRC）との共催により運営する研究奨学金制度です。日米両国を機軸とした政策研究に長期的に従事し、世界に貢献しようとする新世代の研究者を支援します。

安倍ジャーナリスト・フェロースhip

日米のジャーナリストを対象に、現代のグローバルな政策課題に関する学際的・国際的な調査研究・取材の機会を提供する奨学金制度です。日米両国の喫緊の関心事についての質の高い報道を支援します。

日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク

モーリン&マイク・マンフィールド財団が主催する、次世代の日米関係を担う日本専門家の育成プログラムを支援します。2年間を通じて、参加者に日米両国の幅広い分野の関係者との意見交換や討議の場を提供し、専門家同士の関係強化やネットワーク構築を目指しています。

日系アメリカ人リーダー・シンポジウム

米国の日系人社会と日本との相互理解を促進するため、日系アメリカ人リーダーが登場するシンポジウムを日本国内各地で開催します。

※各プログラムの詳細はウェブサイト（日本語 jpf.go.jp/cgp/index.html 英語 cgp.org）をご覧ください。



日本語



English

日米センター

草の根交流・教育

日米センター草の根・教育交流プログラムは、日米グローバル・パートナーシップの深化を目的に、市民交流を通じた日本理解の促進や日米の相互理解およびネットワークの強化を図るとともに、日米関係を担う次世代リーダーの育成を支援します。



一般公募助成

米国の非営利団体(大学、美術館・博物館、日本庭園を含む)が実施する日本理解促進を目的とした地域・草の根レベルの日米交流事業を支援します。

地域・草の根交流小規模助成

社会的な共通課題に取り組む日米の非営利団体および市民グループ間のネットワーク形成・強化を支援します。

教育交流小規模助成

米国における幼稚園から高校までの児童生徒や教員の対日理解促進を目的として、各地のニーズに沿った内容の教員研修、教育ワークショップ、地域アウトリーチ活動を支援します。

日米草の根交流コーディネーター派遣(JOIプログラム)

日本との交流の機会が少ない米国内の地域に対して、米国非営利団体ローラシアン協会との共催により、草の根レベルでの日本理解促進活動を行う日本人コーディネーターを派遣するプログラムです。コーディネーターは2年間、ボランティアとして日本の幅広い文化を紹介する活動や交流事業を行います。

※各プログラムの詳細はウェブサイト(日本語 jpf.go.jp/cgp/index.html 英語 cgp.org)をご覧ください。



日本語



English

国際交流基金日米センター

日米センター (Center for Global Partnership) は、次の2つの目的を掲げ、1991年4月に国際交流基金の中に設立されました。

- ・日米両国が国際的責任を分かち合い、世界に貢献するため、世界的視野に基づく協力を推進する。
- ・相互理解に基づく揺るぎない協力関係を実現するため、日米両国の各界各層における対話と交流を促進する。

これらの目的を達成するため、日米センターは、「知的交流」と「草の根交流・教育」の2つの分野において、主催・共催事業や助成事業、フェローシップ事業を行っています。

国際交流基金ニューヨーク 日本文化センター

The Japan Foundation, New York
1700 Broadway, 15th Floor
New York, NY 10019
T (212) 489-0299 F (212) 489-0409
info@jfny.org
www.jfny.org



国際交流基金ニューヨーク 日米センター

**The Center for Global Partnership,
New York**
1700 Broadway, 15th Floor
New York, NY 10019
T (212) 489-1255 F (212) 489-1344
www.cgp.org



国際交流基金ロサンゼルス 日本文化センター

The Japan Foundation, Los Angeles
5700 Wilshire Boulevard, Suite 100
Los Angeles, CA 90036
T (323) 761-7510
www.jflalc.org



国際交流基金本部

www.jpff.go.jp



国際交流基金日米センター

www.jpff.go.jp/cgp/



ニュースレターとFacebookで当センターの最新情報をお届けしています。是非ご登録ください。

jfny.org/newsletter

 @jfny.cgp



CGP

The Japan Foundation
Center for Global Partnership

